

7 保護水面周辺海域の漁業

名蔵湾は、石垣島南西部の2750haを占める湾口の開けた内湾で、底質は、主として砂、砂礫、泥よりなり、湾周辺域は遠浅である。当海域のこれまでの調査、漁業者からの聞き取り、資料などを整理して、漁法とその対象種を表12、漁場を図10にまとめた。亜潮干帯域には、リュキュウスガモを主とする藻場が帯状に分布する。モ場では、シラヒゲウニ漁、モズク漁が行なわれている。名蔵湾は、沿岩性浮魚、底魚、サンゴ礁魚、アオリイカ、タコなどの産卵場及び成育場でもあり、資源の再生産に極めて重要な海域となっている。この海域は、八重山の漁場の中核をなし、八重山地区漁業の最も重要な漁場である。

表12 名蔵湾における主な漁法と漁獲種類

漁法	操業時期	水深	主な漁獲種類
定置網・建干網	周年	4m以浅	アオリイカ、ブダイ類、アイゴ類、ボラ類、アジ類、ドロクイ
刺し網 追込み網	12~4月 周年	10m以浅	ブダイ類、アイゴ類、フェフキダイ類、タカサゴ類、ニザダイ類、カワハギ類
カゴ網	周年	15m以浅	ハマフエフキ、イソフエフキ、ハタ類、アイゴ類
巻網	周年	50~70m	メアジ、クサヤムロ、ヤマトミズン、イカ類、カツオ
カツオ餌	6~8月	3~25m	タカサゴ類稚魚、テンジクダイ類、スズメダイ類
シャコ貝	周年	10m以浅	シャコ貝、タコ、コブシメ
オキナワモズク	3~5月	3m以浅	オキナワモズク
ウニ	5~10月	3m以浅	シラヒゲウニ

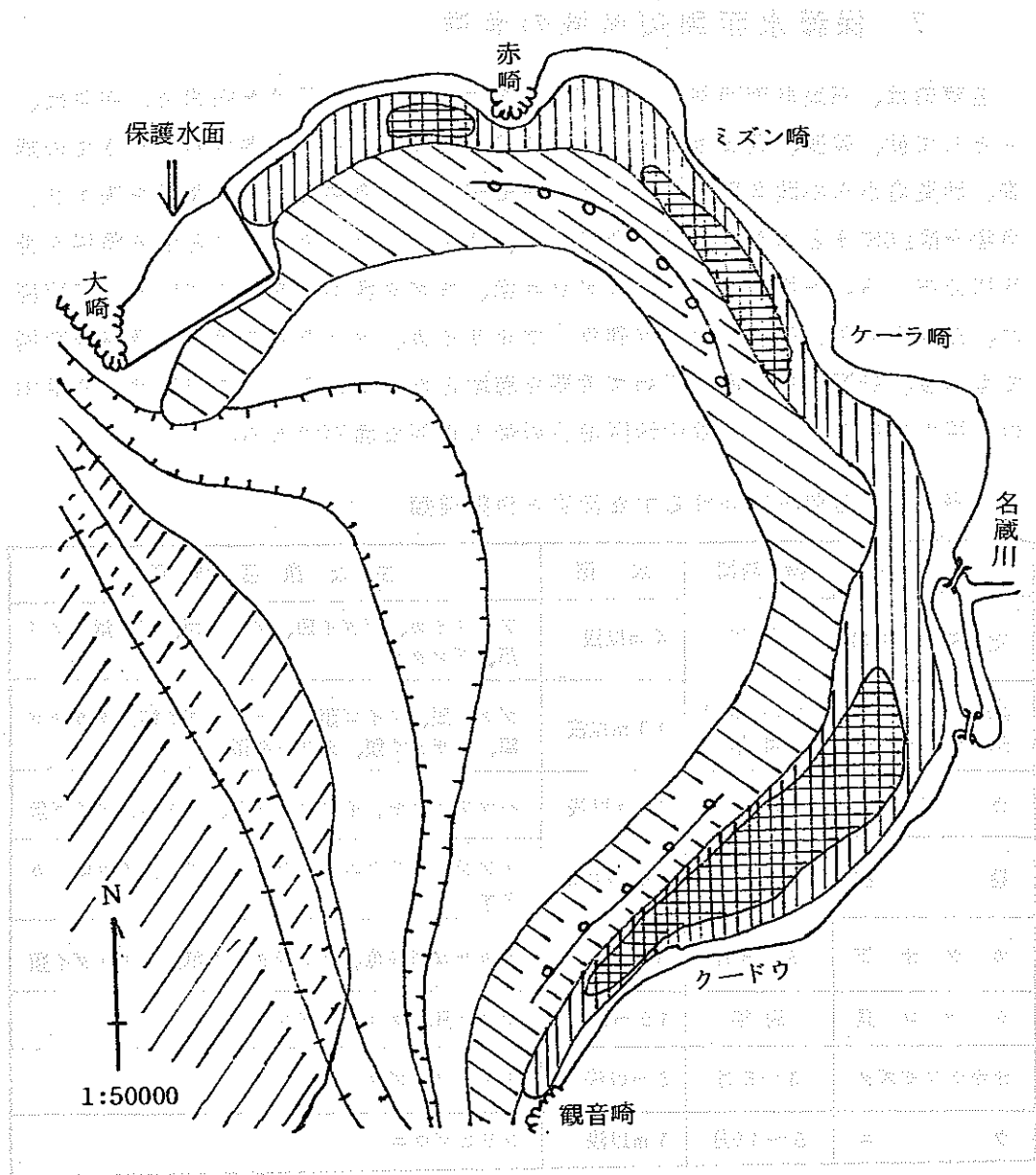


図10 名蔵湾の魚場図

- オキナワモズク、シラヒゲウニ、

 定置網、建干網
- 刺網、追い込み網、カゴ網、シャコ貝、

 カツオ餌
- 巻網

 1本釣、延縄

 曳縄
- タコ類